

# 事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	商工部商業観光課	■担当係	観光物産係
■評価事業名称	岩手県観光協会負担金		
■事業開始年度			
■評価事業コード	060200 - 019	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり	
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興	
	■施策	04 地域資源を活かした観光の振興	
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	岩手の魅力ある観光資源の様々な宣伝を通しての、岩手の誘客促進と県民生活、文化及び経済の向上発展。県内における観光事業の振興を図り、併せて国際観光の振興を促し、文化及び経済の向上発展を図ることを目的に、県及び県内市町村並びに同観光協会で構成する協会負担金		

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成27年度事業計画	平成27年度事業量実績
01	岩手県観光協会負担金	県観光協会	岩手県観光協会が行う事業に対する負担金	岩手県観光協会が行う事業に対する負担金 (主要事業)・接遇研修会・旅行エージェントの招請事業・SNSを活用した情報発信

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	備考
直接事業費	659	936	935	935	
人件費	79	76	81		
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	738	1,012	1,016	935	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	24年度	25年度	26年度	27年度	指標の説明
01	観光振興のための賛助会員協議会開催	2回		2回	1回	観光振興を目的とする賛助会員全員協議会に出席した。
02	観光宣伝事業、受け入れ体制の整備事業、誘客対策事業	適宜		適宜	適宜	観光客誘客や、修学旅行受け入れなどの各種事業、キャンペーンを実施した。
03	年間観光客の入込数	1371千人		1,394千人	1,400千人	各施設等への入込調査による

# 事務事業事後評価シート[平成27年度事業]

04	開催数当たりコスト	329.5千円			
05	観光客当たりコスト	0.51円	0.73円	0.67円	

## 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

### ■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

### 達成状況の分析

年間入込数は増加している。

### 問題点・課題等

外国人観光客の誘客体制が整っていない。主要な観光ルートに劣らない魅力を備えなければならない。

### 1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

### 2. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

### 3. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

### 4. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

### 5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 6. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

### 7. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

### 8. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

### 9. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

### ■事業の見直し方策

### ■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了